

2 級・3 級普及指導員グラウンド・ゴルフ研修交歓大会 実施要項

1. 目 的 同一ブロック内の 2 級及び 3 級の資格を有した普及指導員が、都道府県の枠を越えた研究協議と実技研修を通して、普及指導員としての資質向上を図り、グラウンド・ゴルフのさらなる普及・発展に寄与する。
2. 内 容 研究協議及び実技研修（詳細は開催要項例参照）
3. 開 催 各ブロック内 1 都道府県を開催地とする。開催地の決定は各ブロックに一任する。年度に 1 回、開催する。
4. 参加者 2 級及び 3 級普及指導員
参加人数の下限を 1 5 0 名とする。
5. 助 成 4 0 万円を上限として参加人数に応じて助成する。
助成金の使途は、会議室借料、都道府県協会役員等旅費・謝金、消耗品費、印刷費、通信運搬費などとする。
なお、決算書には領収証（コピー可）を添付する。
6. その他 単一都道府県での開催は不可とする。
事業終了後、実施状況報告および決算報告を行う。（P47～P48）
参加費は開催都道府県一任とする。

2級・3級普及指導員グラウンド・ゴルフ研修交歓大会 開催要項（例）

- (1) 主 催 公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会
開催都道府県グラウンド・ゴルフ協会

(2) 開催日程例

1 日目	12:30	14:30	16:30
	開会式	研究	協議
2 日目	8:30	10:30	12:30
	実技	研修	閉会式

(3) 内 容

- ①研究協議：座学を基本として4時間を目安に研修する。研修後は研修のねらいに応じて成果の確認（評価）を必ず行い、報告する。

例) 講義形式でテキストの内容を再学習する
各都道府県の情報を交換する
共通課題について対応策を検討する など

- ②実技研修：実技を基本として4時間を目安に研修する。研修後は研修のねらいに応じた成果の確認（評価）を必ず行い、報告する。なお、実技研修は、単に大会を開催するのではなく、本大会の目的達成に相応しい内容で行うものとする。

例) マナーの徹底を課題にプレーする
記録集計を課題にプレーする
日頃のプレーから生じた課題を、実技を通して確認・改善する

(4) その他

- ①研修交歓大会は、ワッペンを着用するものとする。
②4年間の認定期間内に参加した2級普及指導員の更新時レポートについては免除する。

確認方法 →『2級・3級普及指導員研修交歓大会参加証』のコピーを添付する。